

12 カメラ

画像を撮影する.....	12-2
いろいろな撮影と機能.....	12-9
2次元コードスキャナーとして使用する	12-18
Java アプリでカメラ機能を使用する	12-21

画像を撮影する

内蔵のカメラを使って、画像を撮影できます。

カメラをご利用になる前に

カメラご利用について

- ・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- ・本電話機を温かい場所や直射日光が当たる場所に長時間置いて画像を撮影したり保存した場合は、画像が劣化することがあります。
- ・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。
- ・レンズに直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が劣化することがあります。
- ・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると画面に縞模様が現れる場合（フリッカー現象）がありますが、故障ではありません。
- ・被写体の明るさによっては、画像に縞模様が映る場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- ・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、画像が暗くなる場合があります。

撮影時のご注意

- ・レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布で拭いてください。レンズに指紋や油脂などが付いていると、ピントが合わなくなったり、撮影した画像に汚れが映ったりします。
- ・撮影するときに手ぶれで本電話機が動くと、画像がぶれる原因となります。本電話機が動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置き、セルフタイマーを使って撮影してください。「セルフタイマーで撮影する」(P.12-12ページ)
- ・被写体が画面に確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。本電話機を動かしながらシャッターを押すと、正常に撮影できない場合があります。
- ・接写モード以外で撮影するときは、被写体との距離を30cm以上とってください。
- ・撮影時は、レンズやフラッシュに指やハンドストラップなどがつかないようにしてください。
- ・撮影した画像を保存する前に電池残量がなくなると保存できません。

著作権・肖像権について

本電話機を利用して撮影したもの、およびインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集、公衆送信等をする行為は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権法上禁止されています。ご注意ください。

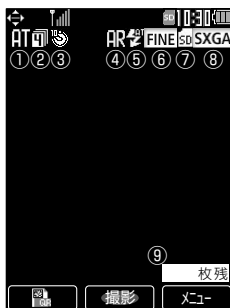
なお、実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、本電話機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネットホームページ上に掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがあります。ご注意ください。

カメラ機能について

本電話機の内蔵カメラは、130万画素です。撮影した画像は、待ち受け画面の壁紙として利用したり、電話帳に貼り付けたり、メールに添付したりできます。

撮影画面の見かた



- ①撮影モード「室内/屋外など状況に応じたモードにする（撮影モード）」（※ 12-10ページ）
- ☺：オート
 - 🏠：室内
 - 💡：蛍光灯
 - 🌳：屋外晴れ
 - ☁️：屋外曇り
 - 🌃：夜景
- ②連続撮影「連続して撮影する（連続撮影）」（※ 12-11ページ）
- 📷：4連写
 - 📷：9連写
- ③セルフタイマー「セルフタイマーで撮影する」（※ 12-12ページ）
- 🕒：2秒
 - 🕒：5秒
 - 🕒：10秒
- ④アレンジ撮影「セピア/ネガ/モノクロで撮影する（アレンジ撮影）」（※ 12-13ページ）
- 🖼️：アレンジ撮影
- ⑤フラッシュ設定「フラッシュを使用する」（※ 12-6ページ）
- 📷：フラッシュ ON
 - 📷：オートフラッシュ
 - 📷：ライト&フラッシュ
- ⑥撮影画質「画質を設定する（撮影画質）」（※ 12-10ページ）
- FINE：ファイン
 - STD：ノーマル
 - MAIL：メール
- ⑦保存先「保存先を設定する（保存先選択）」（※ 12-16ページ）
- 📱：本体メモリ
 - 📧：microSD
- ⑧撮影サイズ「撮影するサイズを設定する（撮影サイズ）」（※ 12-9ページ）
- SXGA：SXGAサイズ
 - VGA：VGAサイズ
 - QVGA：壁紙サイズ
 - QQVGA：ケータイサイズ
- ⑨撮影可能枚数

撮影サイズについて

撮影サイズは、縦と横の画素数によりケータイサイズ、壁紙サイズ、VGAサイズ、SXGAサイズの4種類があります。

各撮影サイズのデータサイズと保存可能枚数は以下のとおりです（データサイズはモード（画質）によって異なります）。「撮影するサイズを設定する（撮影サイズ）」（※ 12-9ページ）、「画質を設定する（撮影画質）」（※ 12-10ページ）

撮影サイズ（画素数）	撮影画質	データサイズ	保存可能枚数
ケータイサイズ（120 × 160）	ノーマル	20K バイト前後	約 100 枚
	メール	9K バイト以下	約 222 枚
壁紙サイズ（240 × 320）	ファイン	100K バイト前後	約 20 枚
	ノーマル	70K バイト前後	約 29 枚
	メール	20K バイト以下	約 100 枚
VGA サイズ（640 × 480）	ファイン	200K バイト前後	約 10 枚
	ノーマル	100K バイト前後	約 20 枚
	メール	50K バイト前後	約 40 枚
SXGA サイズ（1280 × 960）	ファイン	500K バイト以下	約 4 枚
	ノーマル	300K バイト前後	約 7 枚
	メール	200K バイト前後	約 10 枚

撮影した画像データについて

撮影した画像データは、本体のデータフォルダまたはmicroSDカードにJPEG形式で保存されます。「保存先を設定する（保存先選択）」（※ 12-16ページ）、「データフォルダを参照する」（※ 12-17ページ）画像データのファイル名は、以下のようになっています。

■壁紙サイズ／ケータイサイズで撮影した場合のファイル名

YYMMDD_HHMM.jpg

西暦年（下2桁） 月 日 時 分 拡張子

例えば、2006年9月25日14時32分に撮影した場合のファイル名は、「060925_1432.jpg」となります。同じ日時に複数枚撮影した場合は、「060925_1432'001.jpg」のように連番が付けられます。

■VGAサイズ／SXGAサイズで撮影した場合のファイル名

J001XXXX.jpg

デバイスID 4桁の連番 拡張子

デバイスIDは本電話機を表す番号です。連番は、「0001」から始まる番号です。5枚目の画像であればファイル名は「J0010005.jpg」となります。


画像を撮影する

1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、 を押す

「カメラ起動中 マクロスイッチを確認して下さい」と表示され、撮影画面にカメラの映像が表示されます。

2 撮影距離に合わせてマクロスイッチを設定する

「各部の名前」(P.18ページ)

接写するとき:  に合わせ、被写体から約10cm離す。

通常撮影するとき:  に合わせ、被写体から30cm以上離す。

3 撮影対象を撮影画面に表示する

必要に応じて、以下の設定を行います。

- ▶ フラッシュを使用する (P.12-6ページ)
- ▶ ズームする (P.12-7ページ)
- ▶ 明るさを調整する (P.12-7ページ)
- ▶ カメラ機能の説明を表示する (P.12-8ページ)
- ▶ 画面上のマークを非表示にする (P.12-8ページ)

4 (撮影) を押す

シャッター音が鳴ったあと、撮影確認画像が表示されます。

5 撮影確認画面で画像を確認し、 (保存) を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。「保存先を設定する(保存先選択)」(P.12-16ページ)

▶ 保存先が本体のデータフォルダの場合






「データフォルダに保存中」と表示され、保存が完了すると「データフォルダに保存しました」と表示されます。画像は「カメラデータ」フォルダに保存されます。

▶ 保存先がmicroSDカードで撮影サイズがSXGAサイズ/VGAサイズの場合




「保存中 microSDを抜かないで下さい」と表示され、保存が完了すると「microSDデジカメデータに保存しました」と表示されます。画像は「デジカメデータ」フォルダの「100JRC01」フォルダに保存されます。

▶ 保存先がmicroSDカードで撮影サイズが壁紙サイズ/ケータイサイズの場合

「保存中 microSDを抜かないで下さい」と表示され、保存が完了すると「microSDカメラデータに保存しました」と表示されます。画像は「カメラデータ」フォルダに保存されます。

撮影しなおす場合は  または  を押します。「保存せずに終了しますか?」と表示されるので、 で「Yes」を選択して  を押すと、撮影画面に戻ります。「No」を選択すると、撮影確認画面に戻ります。また、ここで  を押すと、カメラ機能を終了して待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 撮影確認画面が表示されてから約90秒間何も操作しないと、撮影確認画面の画像は自動的に保存されます。
- マナーモード、オートサイレントを設定している場合でも、シャッター音は鳴ります。
- 撮影時に着信があった場合は、着信中画面に変わります。
- 撮影サイズが壁紙サイズまたはケータイサイズの場合は、手順5でファイル名を変更することができます。 (メニュー) を押し、 (ファイル名編集) を押します。ファイル名編集画面が表示されるので、ダイヤルボタンでファイル名を入力し、 を押します。
- 保存先がmicroSDカードの場合、SXGAサイズ/VGAサイズの画像は、「デジカメデータ」フォルダ内のサブフォルダ「100JRC01」に保存されますが、「100JRC01」内のデータ数が上限の1000件に達すると、新しいサブフォルダ「101JRC01」に画像が保存されます。以降、サブフォルダのデータ数が上限に達するごとに「102JRC01」「103JRC01」「104JRC01」…と新しいサブフォルダが生成されます。


■「空き容量が足りません」と表示されたときは

画像の保存時に「空き容量が足りません」と表示されたときは、保存方法の選択画面が表示され、保存先を変更したり不要なデータを削除したりできます。

▶ 保存先が本体のデータフォルダの場合

「データフォルダの空き容量が足りません」と表示され、保存方法の選択画面が表示されます。

1 (本体データ削除) を押す

データフォルダの内容が表示されます。
空き容量のある microSD カードが挿入されている場合は、 (microSD に保存) を押し、microSD に保存することもできます。

2 で削除するデータを選択し、 を押す

「削除しますか?」と表示されます。

3 で「Yes」を選択し、 を押す

「削除しました」と表示され、撮影画像がデータフォルダに保存されます。
保存に必要な容量が確保されなかった場合は、手順 2,3 を繰り返します。

▶ 保存先が microSD カードの場合

「microSD カードの空き容量が足りません」と表示されます。

本体のデータフォルダに空き容量がある場合は、自動的にデータフォルダに保存されます。本体のデータフォルダにも空き容量がない場合は、保存方法の選択画面が表示されます。

1 (本体データ削除) を押す

データフォルダの内容が表示されます。

2 で削除するデータを選択し、 を押す

「削除しますか?」と表示されます。

3 で「Yes」を選択し、 を押す

「削除しました」と表示され、撮影画像がデータフォルダに保存されます。
保存に必要な容量が確保されなかった場合は、手順 2,3 を繰り返します。



フラッシュを使用する

撮影時にフラッシュを使用するかどうかを設定します。連続撮影を設定している場合は、フラッシュは使用できません。


1 撮影画面で を押す

ボタンを押すたびに設定が切り替わります。

現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。

 (フラッシュ ON) :  (撮影) を押すたびにフラッシュが点灯します。

非表示 (フラッシュ OFF) : フラッシュは点灯しません。

 (オートフラッシュ) : 撮影時の明るさに応じて、フラッシュが点灯します。周囲が暗い場合はフラッシュが点灯し、明るい場合は点灯しません。

Q (ライト&フラッシュ) : 連続撮影を設定していない場合は、フラッシュの設定後ライトが点灯します。撮影時はライトが消灯し、フラッシュが点灯します。画像を保存したあとは再度ライトが点灯します。連続撮影を設定している場合は、フラッシュの設定後ライトが点灯しますが、撮影時と保存時は消灯します。保存後撮影画面に戻ったときに再度ライトが点灯します。また、連続撮影時にフラッシュは点灯しません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「オートフラッシュ」に設定されています。
- フラッシュの設定は、サブメニューでも変更できます。撮影画面で (メニュー) を押し、サブメニューで (次頁) を押します。 (フォト設定) を押し、 (フラッシュ) を押します。 ~ のいずれかを選択します。

ズームする

最大16倍までのズームを設定することができます。

1 撮影画面で を押す

撮影画面の右端に現在のズームレベルを表すバーが表示されます。

2 を押す

ボタンを押すたびに、ズームレベルが変わります。

▶ を押すと

撮影対象をズームアップ(拡大)します。

▶ を押すと

撮影対象をズームダウン(縮小)します。

3 を押す

ズームレベルが設定されます。

お知らせ

- 画像サイズにより、設定可能なズームレベルは異なります。
- 撮影が終了してもカメラ機能を終了するまでは、設定したズームレベルが維持されません。
- 手順3で を押さなくても、手順2の後に約2秒以上経過するとズームレベルが設定されます。

明るさを調整する

撮影画面に表示されている画像の明るさを調整します。明るさは11段階のレベルで調整できます。

1 撮影画面で を押す

撮影画面の下部に現在の明るさのレベルを表すバーが表示されます。

2 を押す

ボタンを押すたびに、明るさのレベルが変わります。

▶ を押すと

画像が暗くなります。

▶ を押すと

画像が明るくなります。

3 を押す

明るさが設定されます。

お知らせ

- 撮影が終了してもカメラ機能を終了するまでは、設定した明るさが維持されます。

カメラ機能の説明を表示する

カメラ機能の操作方法や撮影画面上のマークの説明を表示します。

1 撮影画面で **MENU** (メニュー) を押し、サブメニューで **MENU** (次頁) を押し

2 **?** (ヘルプ機能) を押し

3 **?** (機能説明) または **?** (ピクト説明) を押し

? (機能説明) を押しとカメラ機能の操作方法が、**?** (ピクト説明) を押しと画面上のマーク(ピクト)の説明が表示されます。

画面上のマークを非表示にする

撮影画面に表示されるマークの表示/非表示を切り替えます。

1 撮影画面で **?** を押し

ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わりま
す。

お知らせ

- マークの表示は、次の操作でも設定できます。撮影画面で **MENU** **?** **?** を押し、**?** (ピクト表示) を押します。**?** (ON) を押しと表示、**?** (OFF) を押しと非表示になります。

いろいろな撮影と機能

撮影した画像をEメールで送信する

撮影した画像データをEメールに添付して送信することができます。

1 画像を撮影する

「画像を撮影する」(※P.12-5ページ)の手順1～4

2 (Eメール) を押す

画像データがデータフォルダに保存され、「データフォルダに保存しました」と表示されます。



3 を押す

Eメール作成画面が表示されます。保存した画像データが、添付ファイル欄に表示されています。

4 メールを送信する

「Eメールを新規に作成して送信する」(※P.8-8ページ)

お知らせ

- 撮影サイズがSXGAサイズまたはVGAサイズで、添付可能サイズ(350KBバイト)を超えている場合は、「サイズオーバーです 縮小保存し 添付しますか」と表示されます。縮小して添付する場合は、で「Yes」を選択し、を押します。

撮影するサイズを設定する (撮影サイズ)

4種類のサイズから選択できます。用途に応じて使い分けてください。

1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、 を押す

2 撮影画面で を押す

ボタンを押すたびに設定が切り替わります。現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。

QQVGA (ケータイサイズ) : 画素数 120 × 160。
メールに添付して送信する場合などに使います。





QVGA (壁紙サイズ) : 画素数 240 × 320。
待ち受け画面の壁紙に利用する場合などに使います。

VGA (VGAサイズ) : 画素数 640 × 480。
パソコンで加工したり、印刷したりする場合などに使います。

SXGA (SXGAサイズ) : 画素数 1280 × 960。
Lサイズでプリントする場合などに使います。

3 撮影する

お知らせ

- お買い上げ時には、「壁紙サイズ」に設定されています。
- 撮影サイズの設定は、サブメニューでも変更できます。
撮影画面で  (メニュー) を押します。サブメニューで  (撮影サイズ) を押し、 ~  のいずれかを選択します。
- 各撮影サイズのデータフォルダ保存サイズや保存可能枚数については、「カメラ機能について」(※P.12-3ページ)を参照してください。
- データフォルダに撮影サイズに対応した容量がない場合でも、撮影サイズは変更できません。
- 画面右下に表示される撮影可能枚数は、撮影サイズによって変わります。
- カメラ機能の終了後や電源OFF後も、設定した撮影サイズは維持されます。

画質を設定する（撮影画質）

撮影する画像の画質を設定できます。画質を低くするほどデータサイズも小さくなります。

1 待ち受け画面で を約 1 秒以上押すか、

  を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押す

3 （撮影画質）を押す

4 ~ のいずれかを押す

▶ （ファイン）を押すと

最高画質（100%の画質）にします。ケータイサイズの場合は選択できません。

▶ （ノーマル）を押すと

標準の画質（80%の画質）にします。

▶ （メール）を押すと


画質を低く（70%の画質）にします。


5 撮影する


お知らせ

● お買い上げ時には、「ファイン」に設定されています。ただし、撮影サイズがケータイサイズの場合のみ、「ノーマル」に設定されています。

● 現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。

：ファイン

：ノーマル



：メール

● 各撮影画質のデータフォルダ保存サイズや保存可能枚数については、「カメラ機能について」(P.12-3ページ)を参照してください。

室内／屋外など状況に応じたモードにする（撮影モード）

撮影場所の状況に合わせて、モードを切り替えることができます。

1 待ち受け画面で を約 1 秒以上押すか、

  を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押す

3 （撮影モード）を押す

4 ~ のいずれかを押す

選択した撮影モードでの撮影画面が表示されます。

▶ （オート）を押すと

撮影場所の状況を自動的に感知して適切な設定にします。

▶ （室内）を押すと

室内撮影に適した設定にします。

▶ （蛍光灯）を押すと

蛍光灯の下での撮影に適した設定にします。

▶ （屋外晴）を押すと



晴天時の屋外撮影に適した設定にします。

▶ （屋外曇）を押すと

曇りや雨天時の屋外撮影に適した設定にします。

▶ （夜景）を押すと

夜景の撮影に適した設定にします。

（次候補）または （前候補）を押すと、撮影モードを切り替えることができます。現在の撮影モードは、画面上部に表示されるマークで確認できます。

：オート

：室内

：蛍光灯

：屋外晴

：屋外曇

：夜景

5 を押す

選択した撮影モードでの撮影画面になります。

6 撮影する

連続して撮影する（連続撮影）

1回の撮影で、4枚または9枚の画像を連続して撮影できます。撮影の間隔は高速、中速、低速の3種類から選択できます。連続撮影ができるのは、壁紙サイズとケータイサイズの場合のみです。


1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、 を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押す

3 （連続撮影）を押す

4 （4連写）または （9連写）を押す

▶ 連写を解除するには

（解除）を押します。

5 ~ のいずれかを押す

撮影画面が表示されます。

▶ （高速連写）を押すと

約0.2秒間隔で撮影します。

▶ （中速連写）を押すと

約0.5秒間隔で撮影します。

▶ （低速連写）を押すと

約1秒間隔で撮影します。

6 （撮影）を押す



設定した間隔で連続撮影が開始され、撮影終了後、撮影確認画面に撮影された画像が並べて表示されます（インデックス表示）。それぞれの画像には撮影順を示す番号が付けられています。

この撮影確認画面でサブメニューを表示して、画像を保存したり、編集して保存したり、保存先を切り替えたりすることができます。




お知らせ

- お買い上げ時には、「オート」に設定されています。
- カメラ機能の終了後や電源OFF後も、設定した撮影サイズは維持されます。



▶ 選択した画像をまとめて保存するには

（メニュー）を押して （選択保存）を押すと、画像をまとめて保存することができます。「選択して保存する」(※12-12ページ)



▶ インデックスまたは全画像を保存するには

（メニュー）を押して （インデックス保存）または （全保存）を押すと、インデックスをそのまま保存または全画像を保存することができます。「インデックス保存または全保存する」(※12-12ページ)



▶ 画像編集するには

（メニュー）を押して （画像編集）を押すと、画像を編集することができます。「画像を加工する（編集撮影／画像編集）」(※12-13ページ)

▶ 保存先を切り替えるには

（メニュー）を押して （保存先選択）を押すと、保存先を切り替えることができます。「保存先を設定する（保存先選択）」(※12-16ページ)

7 で保存する画像を選択し、 を押す

選択した画像が全画面サイズで表示されます。 /  で前後の画像に切り替えることもできます。

8 （保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。保存が完了すると、インデックス表示に戻ります。保存済みの画像はグレー表示になります。必要に応じて手順7、8を繰り返し、他の画像を保存します。

お知らせ

- 現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。

：4連写

：9連写

- 連続撮影中に中止したい場合は、（停止）を押します。

選択して保存する

インデックス表示から画像を複数選択して保存します。

- 1 連続撮影の撮影確認画面で （メニュー）を押す

- 2 （選択保存）を押す

- 3 で保存する画像を選択し、
（チェック）を押す

選択中の画像は青色の枠が表示され、選択決定した画像は赤色の枠が表示されます。

- 4 手順3を繰り返し、保存する画像を選択します。

- 5 （保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。保存が完了すると、インデックス表示に戻ります。保存済みの画像はグレー表示になります。

インデックス保存または全保存する

インデックス保存は、インデックスを1枚の画像として保存します。全保存は、連続撮影した画像すべてをそれぞれ保存します。

- 1 連続撮影の撮影確認画面で （メニュー）を押す

- 2 （インデックス保存）または （全保存）を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。インデックス保存の場合はインデックス表示に、全保存の場合は撮影画面に戻ります。

セルフタイマーで撮影する

タイマーを設定して撮影できます。設定時間は、2秒後、5秒後、10秒後から選択します。

- 1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、
 を押す

- 4 （2秒）、（5秒）、（10秒）のいずれかを押す

- 2 撮影画面で （メニュー）を押す

- ▶ セルフタイマーを解除するには

撮影画面で （メニュー）、（セルフタイマー）、（解除）を押します。


- 3 （セルフタイマー）を押す

5 (撮影) を押す

アラーム音とLEDの点滅が始まり、撮影3秒前(1.3) (2秒) の場合は2秒前) から画面に残り秒数が表示されます。

設定時間を経過すると自動的に撮影され、撮影確認画面が表示されます。




▶ セルフタイマーを停止するには

 (停止) を押します。

6 (保存) を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。

お知らせ

- 現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。
 : 2秒
 : 5秒
 : 10秒
- タイマーの残り時間が3秒前までは、ズームレベルを変更できます。
- セルフタイマーは、撮影後に自動的に解除されます。

セピア／ネガ／モノクロで撮影する (アレンジ撮影)

セピア、ネガ、モノクロの画像を撮影できます。



1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、 を押す

2 撮影画面で (メニュー) を押す


3 (アレンジ撮影) を押す

4 (セピア)、 (ネガ)、 (モノクロ) のいずれかを押す

アレンジ選択の撮影画面が表示されます。

 (次候補) または  (前候補) を押すと、アレンジを切り替えることができます。

▶ アレンジ撮影を解除するには

 (解除) を押します。

5 を押す

選択したアレンジでの撮影画面になります。

6 (撮影) を押す

撮影した画像が撮影確認画面に表示されます。

7 (保存) を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。

画像を加工する (編集撮影／画像編集)

画像の周囲に枠を付けるなど、撮影した画像を加工することができます。撮影前にあらかじめ設定しておく方法 (編集撮影) と、撮影後に編集する方法 (画像編集) があります。編集撮影と画像編集ができるのは、撮影サイズが壁紙サイズとケータイサイズの場合のみです。次の3種類の加工ができます。

フレーム添付：画像に額縁のように枠を付けます。

スタンプ添付：画像にスタンプを重ねます。

文字入力：画像に文字を付けます。撮影後の編集時のみ可能です。

編集撮影をする

1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、
 を押す

2 撮影画面で (メニュー) を押す

3 (編集撮影) を押す

4 または を押す

▶ (フレーム) を押すと

「画像データにフレームを付ける」(※P 13-59
ページ)

▶ (スタンプ) を押すと

「画像データにスタンプを貼り付ける」(※P
13-60ページ)

▶ 編集撮影を解除するには

(解除) を押します。

5 を押す

フレームまたはスタンプを付けた撮影画面になり
ます。

6 撮影する

撮影した画像が撮影確認画面に表示されます。

お知らせ

- 撮影後は、編集内容を取り消すことはできません。
- 撮影サイズがケータイサイズの場合、使用できるフレームのサイズは120×160のみ、スタンプのサイズは60×80以下のみになります。

画像編集をする

1 「画像を撮影する」の手順に従って、手
順4の撮影までを行う

「画像を撮影する」(※P 12-5ページ)

2 (メニュー) を押す

3 (画像編集) を押す

4 ~ のいずれかを押す

▶ (フレーム) を押すと

「画像データにフレームを付ける」(※P 13-59
ページ)

▶ (スタンプ) を押すと

「画像データにスタンプを貼り付ける」(※P
13-60ページ)

▶ (文字入力) を押すと

「画像データに文字を入力する」(※P 13-61
ページ)

▶ 画像編集を解除するには

編集内容の設定時に (解除) を押します。

続けて編集を行う場合は、手順2以降を繰り返しま
す。

5 (保存) を押す

撮影した画像が指定の保存先に保存されます。

お知らせ

- 保存後は、編集内容を取り消すことはできません。
- 撮影サイズがVGA、SXGAの場合は、画像編集はできません。
- 手順4で (文字入力) を押し、画像データに文字を入力した場合は、画像編集を解除することができません。

画像に日付を入れる（日付スタンプ）

画像に現在の日時を入れます。日付を入れられるのは、撮影サイズが壁紙サイズ、ケータイサイズの場合のみです。

1 待ち受け画面で を約 1 秒以上押すか、
 を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押し、サブメニューで （次頁）を押す

3 （フォト設定）を押し、（日付スタンプ）を押す

4 ~ のいずれかを選択する

撮影確認画面に日付が表示されます。

▶ を押すと

年月日が「YY/MM/DD」の形式で表示されます。

▶ を押すと

時刻が「HH:MM」で表示されます。

▶ を押すと

年月日と時刻が「YY/MM/DD HH:MM」で表示されます。

▶ 日付スタンプを解除するには

（解除）を押します。

5 （色）を押して日付の色を選択する

（色）を押すごとに色が切り替わります。

6 を押す

日付の入った撮影画面になります。

7 撮影する

お知らせ

- 手順 6 の撮影画面では日付スタンプの時刻は更新されませんが、撮影時には正しい時間が反映されます。

シャッター音を設定する

撮影時のシャッター音を設定します。

1 待ち受け画面で を約 1 秒以上押すか、
 を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押し、サブメニューで （次頁）を押す

3 （フォト設定）を押し、（シャッター音）を押す

4 ~ のいずれかを押す

シャッター音が設定され、撮影画面が表示されます。

▶ シャッター音を確認するには

でパターンを選択し、（再生）を押します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターン 1」に設定されています。

画像を自動的に保存する（自動保存）

撮影した画像を自動的に保存するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で を約 1 秒以上押すか、
 を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押し、サブメニューで （次頁）を押し

3 （フォト設定）を押し、（自動保存）を押し

4 （ON）または （OFF）を押すと
自動保存が設定され、撮影画面が表示されます。

▶ （ON）を押すと

撮影後、設定されている保存先に自動的に保存されます。

▶ （OFF）を押すと

撮影後、撮影確認画面が表示されるので、
（保存）を押して保存します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

保存先を設定する（保存先選択）

撮影した画像の保存先を、本体のデータフォルダまたは microSD カードに設定します。

1 待ち受け画面で を約 1 秒以上押すか、
 を押す

2 撮影画面で （メニュー）を押し

3 （保存先選択）を押し

4 （データフォルダ）または （microSD）を押し

データの保存先が設定され、撮影画面が表示されます。

▶ （データフォルダ）を押すと

本体のデータフォルダに保存されます。

▶ （microSD）を押すと

microSD カードに保存されます。microSD カードが挿入されていない場合は選択できません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「データフォルダ」に設定されています。
- 現在の設定は、画面上部に表示されるマークで確認できます。
：データフォルダ
：microSD
- 本体のデータフォルダでは、撮影したデータはすべて「カメラデータ」フォルダに保存されます。
- microSD カードでは、撮影サイズが VGA サイズ / SXGA サイズの場合は「デジカメラデータ」に、壁紙サイズ / ケータイサイズの場合は「カメラデータ」に保存されます。

メモリの使用状況を確認する（保存容量確認）

本体やmicroSDカードのメモリの使用状況を帯グラフで表示します。

- 1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、
 を押す

- 2 撮影画面で (メニュー) を押し、サブメニューで (次頁) を押す

- 3 (保存容量確認) を押す

「保存先選択」で設定された保存先のメモリの使用状況が表示されます。「メモリの使用状況を見る」(P.13-88ページ)

- ▶ 本体とmicroSDカードを切り替えるには

(本体) または (microSD) を押して、メモリの使用状況の表示を切り替えることができます。

データフォルダを参照する

本体やmicroSDカードのデータフォルダを表示します。撮影した画像を表示する場合もデータフォルダを使用します。「データフォルダを活用する」(P.13-53ページ)

- 1 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、
 を押す

- 2 撮影画面で (メニュー) を押し、サブメニューで (次頁) を押す

- 3 (データフォルダ) を押す

本体のデータフォルダが表示されます。「データフォルダを表示する」(P.13-55ページ)

- ▶ microSDカードのデータフォルダを表示するには

(microSD) を押すとmicroSDカードのデータフォルダ表示に切り替わり、 (本体) を押すと、本体のデータフォルダ表示に戻ります。

2次元コードスキャナーとして使用する

カメラで2次元コードを読み取り、読み取った情報を利用することができます。

2次元コードを読み取る

2次元コードの読み取りは、必ず接写モードに切り替えて行います。

1 マクロスイッチを に設定する

接写モードに切り替わります。「各部の名前」(※P 1-8ページ)

2 待ち受け画面で を約1秒以上押すか、 を押す

3 () を押す

「接写モードにしてください」と表示されたあと、読み取り画面が表示されます。

4 2次元コードを画面の中央に表示させて、 (読取) を押す

2次元コードが読み取られ、内容が読み取り結果画面に表示されます。

▶ 読み取った情報をコピーするには

「情報をコピーする」(※P 同ページ内です。)

▶ 読み取った情報を電話帳に登録するには

「電話帳に登録する」(※P 12-19ページ)

▶ 読み取った情報からメールを作成するには

「メールを作成する」(※P 12-19ページ)

▶ 読み取った情報をブックマークに登録するには

「ブックマークに登録する」(※P 12-20ページ)

▶ 読み取った情報をそのまま保存するには

「読み取り結果を保存する(ログ保存)」(※P 12-20ページ)

お知らせ

- 2次元コードの読み取りに失敗した場合、または90秒以内に読み取りが完了しなかった場合は、「読み取れませんでした」と表示され、読み取り画面に戻ります。
- バーコード(JANコード)も読み取ることができます。読み取り可能な桁数は8桁および13桁です。
- 読み取ったテキストに電話番号、メールアドレス、URLがあると、リンク文字列として青色下線付きで表示されます。リンク文字列に対する機能については、「メール本文の電話番号、メールアドレス、URLを利用する」(※P 8-23ページ)を参照してください。



読み取った情報を使用する


情報をコピーする

読み取った情報から必要な部分をコピーして、他の場所に貼り付けることができます。

1 読み取り結果画面で、 (メニュー) を押す

2 (コピー) を押す

- 3  でコピー範囲の始点を選択し、 を押す

- 4  でコピー範囲の終点を選択する

始点から終点までの範囲が反転します。

- 5  を押す

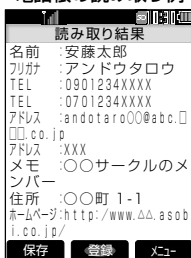
選択した範囲の文字列がコピーされ、読み取り結果画面に戻ります。


このあとは、必要に応じてコピーした情報を他の場所に貼り付けます。「文章をコピー／貼り付ける」(※7-41ページ)

電話帳に登録する

2次元コードから読み取った情報が電話帳データの場合は、本電話機の電話帳に登録することができます。



電話帳の読み取り例



- 2  (登録) を押し、電話帳に登録する

電話帳に登録され、読み取り結果画面に戻ります。「電話帳に登録する」(※7-46ページ)

お知らせ

- 読み取り結果画面で  (メニュー) を押してサブメニューで  (電話機登録) を押しても、電話帳に登録することができます。
- 2次元コードに、電話帳では登録できない文字があった場合は、「入力できない文字は削除しました」と表示されます。

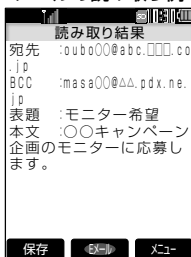
- 1 読み取り結果画面で、 (登録) を押す


読み取った情報が、本電話機の電話帳登録画面に表示されます。

メールを作成する



2次元コードから読み取った情報がメールデータの場合は、読み取った宛先、表題、本文を使用してメールを作成することができます。

メールの読み取り例



- 1 読み取り結果画面で、 (Eメール) を押す

読み取った情報が、本電話機のメール作成画面に表示されます。「Eメールを作成送信する」(※8-8ページ)

- 2  で「送信」を選択し、 を押す

メールが送信され、読み取り結果画面に戻ります。

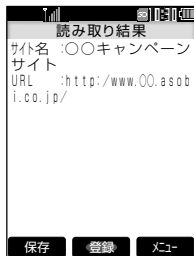
お知らせ

- 読み取り結果画面で **[M]** (メニュー) を押して **[3.2]** (メール作成) を押しても、メールを作成することができます。

ブックマークに登録する

2次元コードから読み取った情報がブックマークデータの場合は、そのブックマークを本電話機のブックマークに登録することができます。

ブックマークの読み取り例



1 読み取り結果画面で、**[M]** (登録) を押す

ブックマークに登録され、「ブックマークに登録しました」と表示されます。読み取り結果画面に戻ります。

お知らせ

- 読み取り結果画面で **[M]** (メニュー) を押して **[4.2]** (ブックマーク登録) を押しても、ブックマークに登録することができます。

読み取り結果を保存する (ログ保存)

読み取り結果をそのまま保存します。

1 読み取り結果画面で、**[M]** (保存) を押す

読み取り結果が保存され、「保存しました」と表示されます。読み取り結果画面に戻ります。

▶ 保存したログを表示するには





2次元コードの読み取り画面で、**[M]** (データ) を押します。**[1.2]** で表示するデータを選択し、**[M]** を押します。**[M]** (本体) または **[M]** (microSD) を押して、本体とmicroSDのデータフォルダを切り替えることができます。

お知らせ

- 読み取り結果画面で **[M]** (メニュー) を押して **[5.2]** (ログ保存) を押しても、読み取り結果を保存することができます。

Javaアプリでカメラ機能を使用する

Javaアプリケーションでカメラ機能を使用することもできます。
使用できるのは以下の表で○を付けた機能です。

操作	機能 (メニュー)	機能 (サブメニュー)
撮影画面で  (メニュー) を押す	<input type="radio"/> 撮影サイズ	
	<input type="radio"/> 撮影モード	
	<input type="radio"/> 連続撮影	
	<input type="radio"/> アレンジ撮影	
	<input checked="" type="checkbox"/> 編集撮影	
	<input type="radio"/> セルフタイマー	
	<input type="radio"/> 撮影画質	
撮影画面で  (メニュー) を押し、サブメニューで  (次頁) を押す	<input type="radio"/> フォト設定	<input checked="" type="checkbox"/> 日付スタンプ
		<input type="radio"/> シャッター音
		<input type="radio"/> フラッシュ
		<input type="radio"/> ピクト表示
		<input checked="" type="checkbox"/> 自動保存
	<input type="radio"/> ヘルプ機能	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保存容量確認	
連続撮影のインデックス画面で  (メニュー) を押す	<input checked="" type="checkbox"/> 選択保存	
	<input type="radio"/> インデックス保存	
	<input type="radio"/> 全保存	
	<input checked="" type="checkbox"/> 画像編集	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保存先選択	

○：使用できます。

×：使用できません。

お知らせ

- Javaアプリケーションで変更したカメラ機能の設定は保存されません。また、通常のカメラ機能の設定にも反映されません。
- Javaアプリケーションでカメラ撮影後、画像を保存するとカメラ機能を終了しJavaアプリケーションに戻ります。連続撮影で選択保存を行った場合は、1枚の画像を選択した時点でJavaアプリケーションに戻ります。
- 自動保存は常に「OFF」です。「画像を自動的に保存する (自動保存)」(※12-16ページ)

